※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１０

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	芸術概論	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽・美術・書道の芸術３科で取り組みます。
・年間の半分を、自分のフィールド以外の活動をします。
・それぞれのフィールドでの活動を通して、その特徴や良さを学び、感じ取ったことを自分のフィールドに生かして、さらに表現を深めます。

２　学習の到達目標

芸術の幅広い活動を通して、それぞれの見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。
【音楽】音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、主体的・協働的に音楽活動に取り組みながら感性を高め、音楽文化親しむ態度を養う。
【美術】美術の創造的な諸活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を深め，生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を養う。
【書道】書道の基礎的な事項や書道と社会・生活について学び、書道についての創造的な思考力、判断力、表現力等を育成し、それぞれの表現活動に生かし、書道文化に親しむ態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	【知識】 音楽・美術・書道それぞれの基礎的な知識や芸術の多様性について理解している。 【技能】 創意工夫を生かした芸術表現をするために必要な技能を身につけ、それぞれの分野の表現方法で表現している。	音楽・美術・書道それぞれを形成している要素やそれらの働きを知覚・感受し、どのように表すかについて表現意図を持ったり、芸術を評価しながら良さや美しさを自ら味わっている。	主体的・協働的に芸術表現の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1【音楽編】	音楽理論を学ぼう！	・音の長さ ・音の高さ ・記号　など	a:【知識】音楽に関する基礎的な知識及び法則について理解している。 b:音楽理論と音楽表現との関わりについて考えている。 c:音楽理論に関心を持ち、主体的・協働的に表現活動及び学習に取り組もうとしている。	・テスト	・ワークシート	・観察
	いろいろな楽器を使ってアンサンブルに挑戦しよう！	・ギター ・ピアノ ・ドラム　　など ※それぞれのグループで選曲した楽曲を使用。	a:【知識】曲想と楽器の音色や奏法・楽曲の構成について理解している。【技能】それぞれの楽器の正しい奏法を身につけ、他者との調和を意識して演奏する技能を身に着けている。 b:楽曲を構成している要素を知覚・感受し、それらの働きについて考え、どのように表現するかについて表現意図を持っている。 c:それぞれの楽器の音色や奏法に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	・演奏の聴取	・演奏の聴取	・観察
2【美術編】	美術鑑賞	視聴覚教材 DVD や図版を鑑賞し、美術史の歴史的背景や意義を学ぶ。	a:　西洋美術(ルネサンスや印象派、現代アートなど)や、日本美術(琳派・浮世絵など)に関する美術史の流れを理解する。 b:歴史的背景や作家の思想を理解し、自身の考えや思いを表現する。 c:美術鑑賞に関心を持ち、主体的・協働的に表現活動及び学習に取り組もうとしている。	レポート	レポート	鑑賞活動の様子 レポート

※令和４年度以降入学生用

	様々な絵画表現を学ぶ	・モダンテクニックについて 　様々な画材・用具・技法を用いて、モダンテクニックの表現について学ぶ。 ・相互鑑賞	a: モダンテクニックについて基本的な技法で表現する b: 創意工夫して様々な技法を用いて効果的な表現で描いている。 c: モダンテクニックに関心を持ち、主体的に創作活動に取り組んでいる。	作品	制作途中の作品 作品	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子 鑑賞ワークシート
3【書道編】	書道理論学習（実習・制作）	・書道の用具用材 　筆墨硯紙 (墨色・にじみ、かすれ) ・書道と社会 　中国書道史・日本書道史 　文字について(漢字・仮名) （書体の変遷　篆書・隷書・草書・行書・楷書・仮名） ・書道と社会　（書と生活 　手書き文字　書式） ・作品制作 【音楽/美術フィールド】（融合作品） ・作家・作品探求 【書道フィールド】 (レポート作成)プレゼンテーション	a:書道の基本的な知識を理解する。 b:書道史や書式について理解した上で表現に生かすことができる c:主体的・意欲的に取り組んでいる。	ノート(プリント)	ノート(プリント・レポート)	ワークシート・取り組み
	書道実習	・用筆 ・にじみ・かすれ ・書体の変遷 　（篆書・隷書・草書・行書・楷書・仮名） ・なまえ(楷書・行書) ・手紙 ・蘭亭を習う(硬筆) ・作品制作(音楽・美術) （音楽と書道の融合作品） （美術と書道の融合作品）	a:書道の基本的技法や知識を理解する b:基本的な技法を生かし創意工夫をして表現できている。制作においては意図に応じて表現できている。 c:興味関心をもって主体的に意欲的な取り組みができている。	半紙など	作品 計画プリント	ワークシート・取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度